

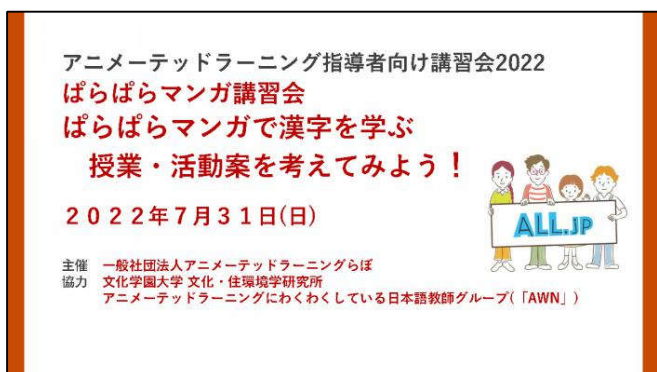
ぱらぱらマンガ講習会 2022

日時:2022 年 7 月 31 日(日)17:00-20:10(日本時間)

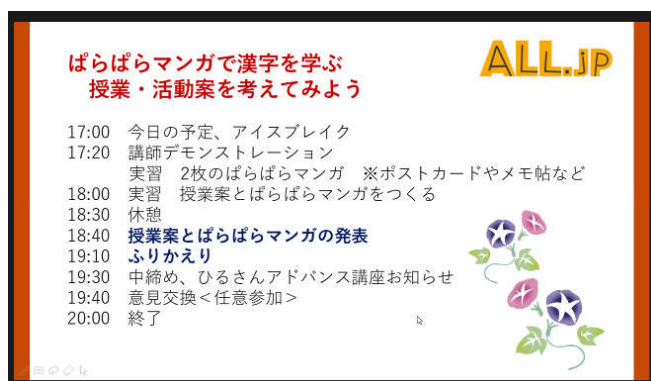
場所:Zoom Meeting

参加者 10 名(敬称略・順不同):

FY(マニラ)
BN(スイス)
LY(イギリス)
KA(イタリア)
UK(ドイツ)
MA(日本)
HK(日本)
荒井知恵 一講師
伊藤裕美(ALL.jp)
浪越徳子(ALL.jp)



1. 今日のパログラム



伊藤: 事前にお伝えしたワークシートを2種類ご準備ください。

- ぱらぱらマンガ アイデアシート

<http://alljp.org/guidance/dl/paraparamanga>

- 模擬ワーク計画シート—アイデアノート

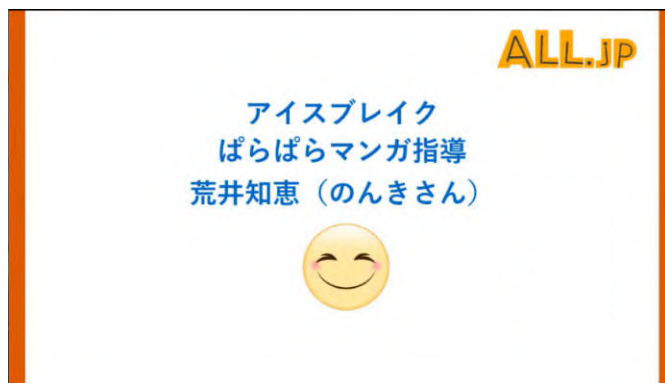
<http://alljp.org/guidance/dl/workplansheet>



2. 参加者 自己紹介



講師: 荒井知恵 (あしたのんき)



3. アイスブレイク



荒井:

先日アニメテッドラーニング本拠地のハンナさんとラウラさんが活動紹介をしてくれた際に教わった、短時間でできるイマジネーションを活性化するアクティビティをやってみましょう。

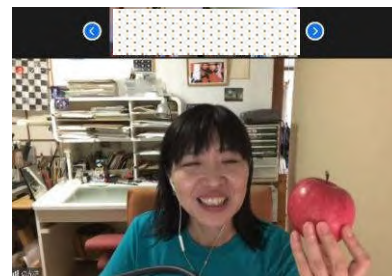
アニメテッドラーニング Online meeting ALL Dk+Jp 実施報告 > > <http://alljp.org/report-alldkjp220623>

10 分エクササイズー視覚言語感覚を身につける > > <http://alljp.org/guidance/point/point-10minexercise>

お題1 ○○から連想するコト、ことば

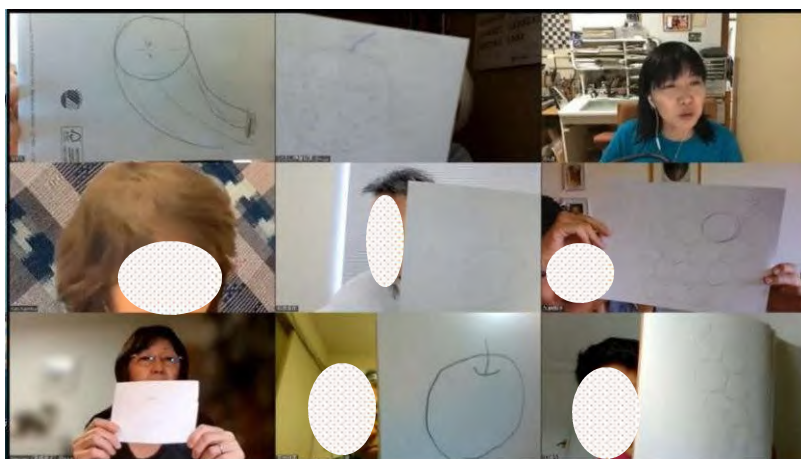
「生のリンゴ」から連想する言葉をチャットに書き込む。1 分間で出来るだけ多く。

- ・シードル、ジュース、ケーキ、風呂、つがる、むつ、リンゴ星人
- ・おいしい。フレッシュ。磨く。かじる。赤い。
- ・セザンヌ、アダム、イブ、エデン、青森、津軽
- ・白雪姫(毒リンゴ)
- ・丸。クリスマス。ヘタ。ゆがみ
- ・イブ。ニュートン。椎名林檎。フジ。ほっぺた。
- ・赤。ニュートン。虫食い
- ・星。赤い。はらぺこ。
- ・ Palida Chore の Virtual Choir Video「Catch A Falling Star, celebrating 30th Anniversary of Apple Day」
<https://www.youtube.com/watch?v=GwRxHn14MrQ>



お題2 手を動かすー「○」から連想する果物を描く

紙に「○」を一つ描く。そこから連想する果物を描いて、発表。



- ①星 ☆
[Palida Youtube Catch a falling star](https://www.youtube.com/watch?v=GwRxHn14MrQ)
- ②赤い
- ③はらぺこあおむし

LY さん「リンゴ」のアカペラ

<https://www.palidachoir.com/>

梨、イチゴ、丸い切り口からバナナ、カラマンシ(フィリピンにある柑橘類)、ミカン、八朔、スイカ、ぶどう・・・

- ・皆さん想像力、地域色豊かに、楽しいウォーミングアップ
- ・ハンナさん、ラウラさんが紹介してくれた 10 分間で出来る頭のエクササイズは他にも。
スライドをウェブサイトアップしたのでご覧ください。授業の箸休めのにも使える。

4. 講師デモンストレーション 講師:荒井知恵(のんき)

荒井:

「漢字」で、ぱらぱらマンガでどういう授業ができるか考えた。

今回のテーマは「動きを示す漢字」。

<模擬ワークの計画 アイデアシート> 別紙参照

- 使える授業例:国語、言語学習、発表を通したコミュニケーション、アニメーション技術系、教育系
- 2〜3 時間で 1 冊 (10〜20 枚) のぱらぱらマンガを作成
- 対象:中学生〜大人
- 達成目標:その漢字を知らない人に見せて、その字が何を表すか理解してもらえる(ことを意識する)
- 模擬ワークの計画
 - サンプル文字、サンプル作品を見せる。
 - ワークは 1 時間程度、途中で進度確認。
 - 各参加者の選んだ文字は非公開でも or ネットがかぶらないよう最初に公開でも OK。
 - 作品を見せ、文字を選んだ理由、工夫した点・難しかった点を発表。
 - 振り返りは発表と同時に良いし、作品を第三者(漢字を知らない人)に見てもらうのも良い。話し合いで更にわかりやすくする提案、等。

<動きを示す動詞の例>

「動き」を示す漢字…

歩 走 立 座 流 並 食 飲 眠 届 折
勝 負 香 泳 形 燃 行 呼 笑 泣 開
閉 煮 焼 燃 出 抜 吐 干 流 洗 吹
飛 跳 増 減 浮 沈 押 引 困 伸 縮
言 聞 測 吸 起 倒 転 驚 滑 怒 受

- ・文字の動かし方のヒントを先に伝えるのも良い。

文字の動かし方 (ヒント:考えられるパターン)

- ・漢字を、アクションしている主体(人など)に見立てる
(歩く、走る、飛ぶ、など)
- ・漢字を、アクションを受ける物体に見立てる
(踏まれる、壊れる、割れる、など)
- ・擬音や吹き出しとして、アクションが起こったときに発生させる
(言う、叫ぶ、吹く、など)

- ・その動きをしている主体に見立てて文字がその動作をする、文字を丸く囲って動きをつける、漢字をアクションを受ける物体に見立てる（「踏」という文字が足に踏まれる、「折」という字が折れる等）
- ・擬音や吹き出しとしてアクションが起こった時に文字を出現させるのもあり
（言う動作をすると「言」という漢字が出てくるとか、吹くと「吹」という漢字が出るとか）

作業の進め方

- ・「アイディアシート」→清書用紙（メモ帳、葉書用紙など）
- ・クリップやホチキスで留め、その場で見せて発表する
（書画カメラ、モニタ、プロジェクタ等を使用して共有）

- ・アイディアシートを書いた後、清書用紙（メモ帳、ポストイット、ポストカード等）へ
- ・コマの枚数はワークショップの時間や参加者の経験値で調整
- ・発表：書いた後、クリップやホチキスで留める。ばらばらめくりながら発表。
書画カメラを使ったり、小グループなら作品を回したりして見せる。



ポストカードを使い、左端を目玉クリップで留めるた例。

注意点

- ・段階的な動きをつける（少しずつ変化させる）
- ・綴じる（留める）方には作画しない

- ・10枚あったらそれぞれ全然違う絵を描くのではなく、少しずつ変化させる。
- ・絵本ではなく、連続で見せるものだという説明を必ずする。
- ・綴じるほうには作画せず、半分から2/3のところに描く。綴じる方に絵を描いても見えないので。
- ・ズレても構わないので、変化するということだけ意識して書く。

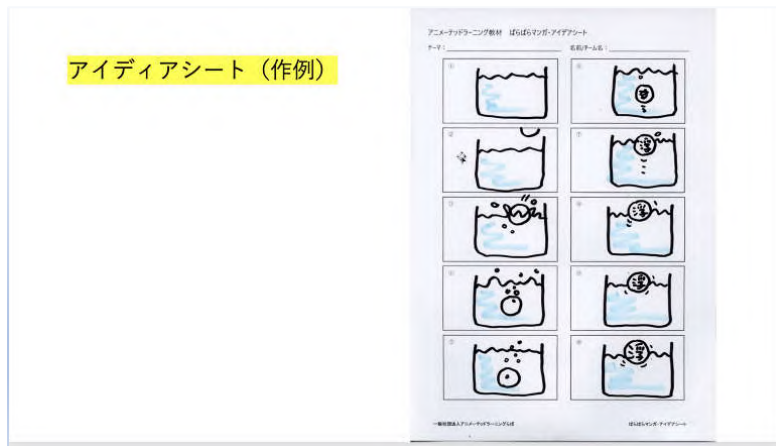
ばらばらマンガのつくり方は下記参照：

練習ワーク0-2「ばらばらマンガで、動詞を学ぶ」>> http://alljp.org/guidance/al-step/practice_0/practice_0-2

いすゞタウン「パラパラまんがをつくろう！」>> <https://www.isuzu.co.jp/town/cafe/anime/>

<アイデアシートの見本>

「浮」



「浮」

ボールが一度落ちてきて一度沈んでから浮かぶ。

浮かんでくるときに漢字が浮かぶ。

最初はボールに「浮」の文字を描こうと思ったが、浮かんだ時に浮かぶでないと動きと、漢字が連動しないことに後から気づき修正した。

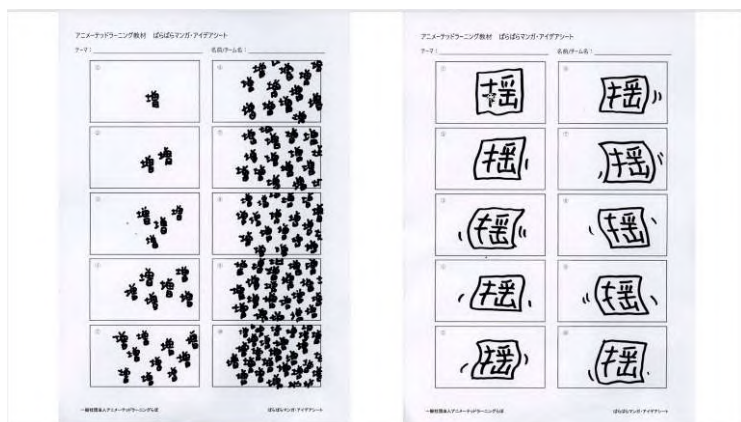
「吹」という文字がひとに吹き飛ばされる

「溶」という文字が溶けていく



「増」という文字が増えていく

「揺」という文字が揺れる。四角で囲んでわかりやすくした



「飛」という文字が飛ぶ。



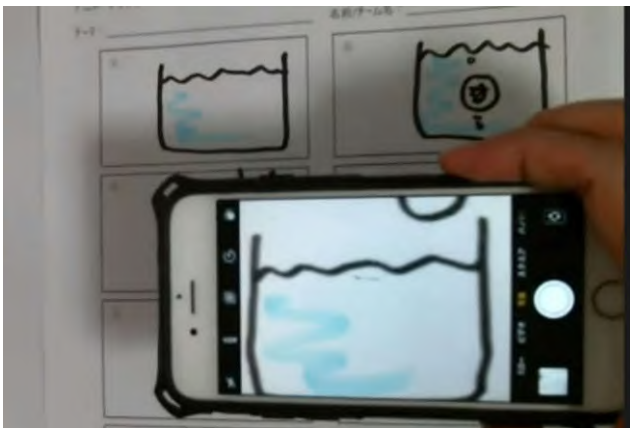
シールに漢字「飛」を書いて貼って作った。

<いろいろな発表、ぱらぱらの見せ方>

発表の代替案

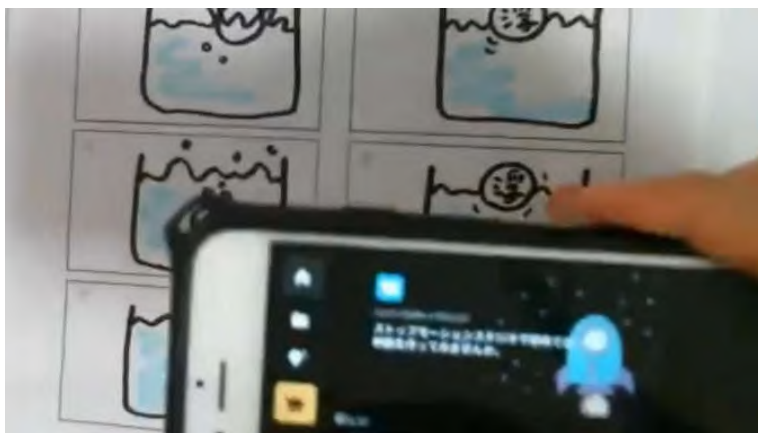
- スマホの「写真」機能を使う
- SMS（ストップモーションスタジオ）で撮影しGIFで書き出して、データを再生する
- powerpointを使い慣れていたら、アニメーション機能を使う方法もある？

- 発表は対面を想定しているが、オンラインの代替案としては、スマホの写真機能を使う方法が一つ。
 - ぱらぱらマンガアイデアシートに描いた絵を①から順番に1枚ずつ撮っていく。
 - アルバムに並べて指でスライドすると動きがつながって見える (iPhone のギャラリー機能)。

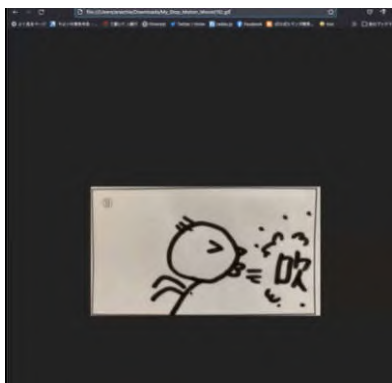


参考ビデオ>> <https://youtu.be/aKbWgdqv9JI>

- ・コマ撮りアプリ「ストップモーションスタジオ」で1枚ずつ撮影し、ムービー(mp4)に書き出す。手っ取り早い。



- ・Gifの場合は画像を連続した静止画を書き出してそれを再生。
Gifをブラウザにドラッグして放り込むとすぐ再生でき、共有できる(iOS/iPhone や iPad など)。



参考ビデオ>> <https://youtu.be/gGHX6aPobBE>
YouTube にアップするため mp4 変換していますが、
元データは gif です。

PowerPoint のアニメーション機能で Gif に書き出す。



「歩」
「走」
「近」
「伸」



参考ビデオ>> <https://youtu.be/4ooRlgZxeY4>

<個人ワーク 2コマのぱらぱらマンガをつくる>

- ・動きを示す漢字を一つ選び、2枚の紙に絵を描いて動きを表現してみる。
- ・2枚同じ紙を用意する。
- ・または、「マジックロール(くるくるアニメ)」のようにしてもよい。A4サイズを縦に切ったものを半分に折り、上下1枚ずつをコマと考えて2つの絵を描く。紙をめくるとぱらぱらマンガのように見える。



参考サイト マジックロール(くるくるアニメ)のつくり方

こどもの城映像科学ブログ>> <http://oshirois.blog.fc2.com/blog-entry-42.html>

映像遊び くるくるアニメ - こどもの城 Web ライブラリー - 資料(2012年版) PDF

「歩」

- ・1枚目は下の紙に描く。(写真左)
- ・2枚目(写真右)は、上の紙にどう描けば歩いて見えるかを考えて描く。1枚目に描いた絵をぱらぱらしながら動きをシミュレーションする。
- ・位置の移動や大きさの移動があると動きを分かりやす。

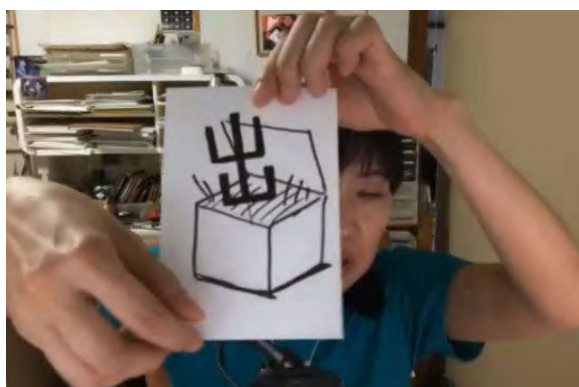


- ・上の紙を鉛筆などで丸めてくるくるするとマジックロールが出来る。

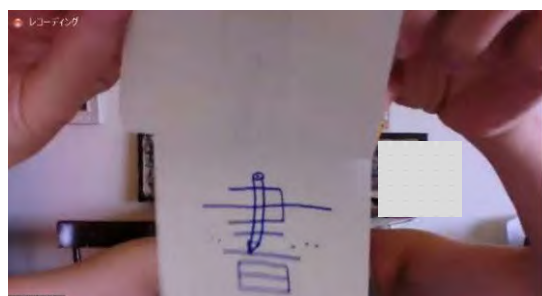
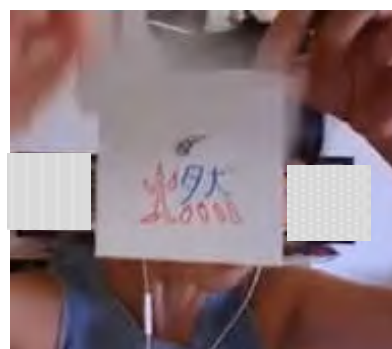
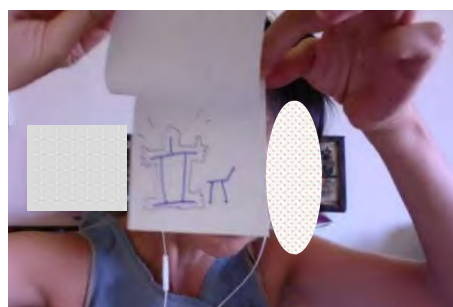
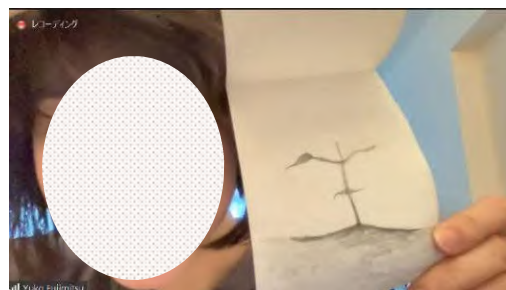


「出」

- ・ 1 枚目は下の紙。(写真左) 2 枚目は上の絵(写真右)



<参加者の発表>



5. 実習 (25 分間)

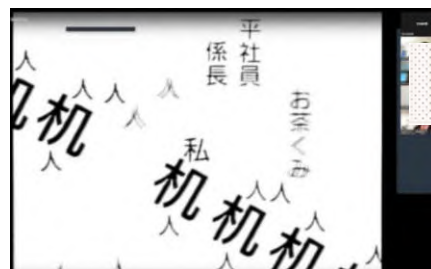
- ・先ほどのワークとは別の漢字を使い、模擬授業を考えてばらばらマンガを作成する。
- ・アイデアノートを書く+ばらばらマンガ(枚数は必要に応じて)、後で発表。

<作業時間に講師が紹介した短編アニメーション>

たけきよひとし(竹清仁)作 『BANANA』

1991 年の作品。文字を使ったアニメーション。話題になった。

<https://youtu.be/mHKgtHp5jDE>



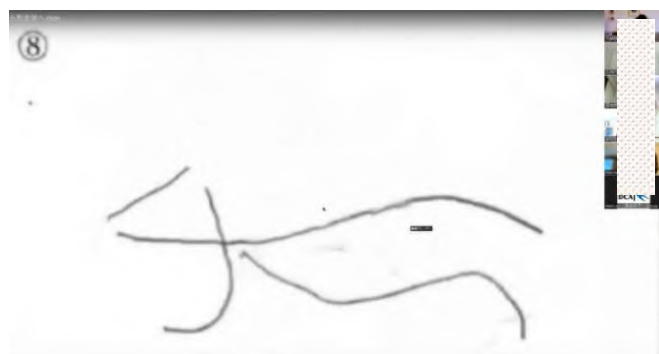
<参加者の発表>

「学び」案とばらばらマンガはこちら>> http://alljp.org/wsflipbook2022_works

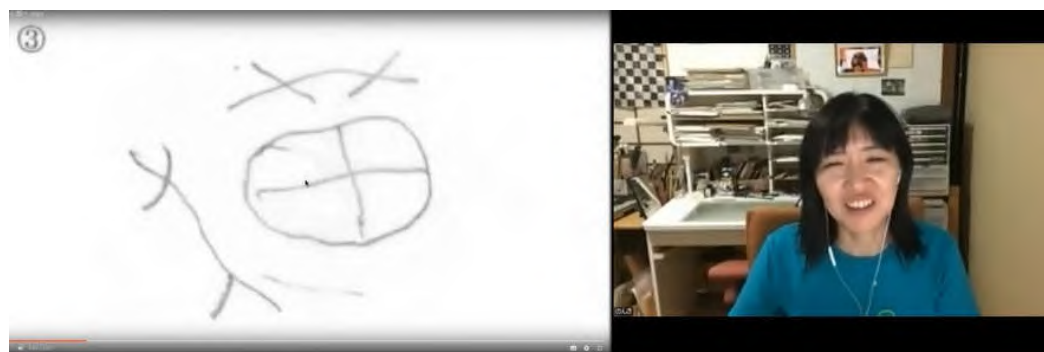
MA:

漢字を習い始めた学習者向け。漢字に親しんでもらうのが目的。

- ・犬: 象形文字から。今の犬の样子の形を変えただけ。
- ・猫: 猫は化けるので、カタチになったり読み方になったりを動画で説明。



模擬ワーク計画シート - アイデアノート		名前	班
テーマ、課題	漢字のカタチと読み方の紹介		
授業や活動	なんの 漢字という文字の多様さを紹介する いつ 入門級の途中 どのくらい 参考程度 どこで 国際交流ラウンジ日本語教室を想定 対象 漢字を習い始めた学習者 達成目標 漢字という文字への親しみを感じてもらう 模擬ワークの計画 (準備、当日の時間配分や進行など) できればアニメーション動画にしたいので、コマ割の变化の工夫や具体的な制作作業内容を説明する。 ・漢字は絵から始まった ・犬の漢字を模倣すると 犬 犬そのものにしか見えない ・では猫の漢字は ... 猫は化ける (日本の怖い話) まず、カタチへ (金井と猫) 次に、読み方へ (猫でしゃべると聞いてこ) 最後、聞き方へ (ミャオ) 中国語の猫はミャオ (猫族という少数民族) ・シートに手書き → スキャナーで取り込み → ファイルを開いて各コマをスクリーンショット → ファイルをまとめて選択しスライドが表示 メモ 練習会での話し合い、アドバイスなど		



荒井:

動画化して編集して音声も入れるなら、言葉や音を発表のときに入れても良い。

メタモルフォーゼの場合、最初と最後の絵を長く表示すると良い。

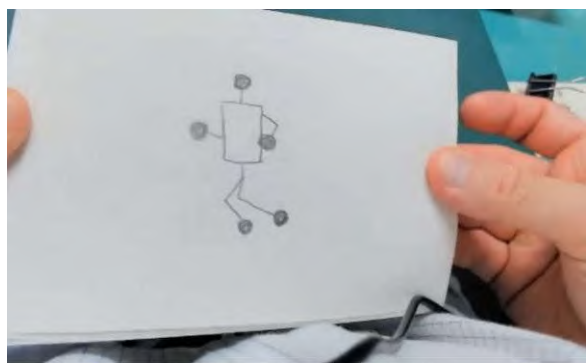
MA:

動画のような見せ方

シートに鉛筆で書いてスキャンして画面に出し、画面の枠だけをスクリーンショットして10枚の画像ファイルを作った。

それをMacの「ファインダー」で、表示モードをギャラリー表示すると1枚1枚の画面が真ん中で固定するので、それをカーソルで動かして作成し、クイックタイムで画面録画して作成した。

HK:



荒井:人間のパーツに黒い丸をつけて展開、そこが漢字のポイントになるのが良い。

模擬ワーク計画シート - アイデアノート		名前
テーマ、課題		
テーマ1	漢字のバランスを体得する	
授業や活動		
なんの	漢字の面のバランスについての	
いつ	漢字導入時期に	
どのくらい	しっかりと	
どこで	初級クラスで	
対象	漢字に初めて触れる学習者	
達成目標	正方形の枠に横と縦に分かれた漢字、例えば「語」を、書き順を再現するばらばらマンガで作成する。そうすることで、「語」が、構造的「言語」にならなくなる。	
模擬ワークの計画(準備、当日の時間配分や進行など)	正方形の枠の紙をこちらが用意して学習者に手を動かして作業してもらおう。	

HK:

自分の手を動かして作業するというのが良い。

例えば、正方形のマスを用意して、文字をアニメで再現させると正方形に収まるように書くようになる。

例えば「語」が「言」と「吾」にならない。漢字のバランスが体得できる。

荒井:面白いアイデア。漢字を書くと、部首とばらばらになりがちになるが、正方形のマスのマスなら良いだろう。

伊藤:

社会科的なことを考えた。

国語以外でも使える。

「民」という漢字から民主主義を考える。

民主主義の制度よりも概念を学ぶことをワークの目標としたい。

民主主義の重点をそれぞれが考えて重要点を表す漢字を選ぶ。

選んだ漢字から民主主義とは何かを説明するばらばらマンガを作る。

目的・効果は、手を動かすことで頭の中だけで理解していたものの定着につながる。

「民」をどうやって表現するか考える上で一度分解し、再構築する。そこで定着する。

対象	1. 小学4年生 「民」の漢字を習う学年 2. 中学生 民主主義を習う学年
達成目標	民主主義は「民」が主人公の社会。民が社会を支え、民がそのひとらしく生きられる社会。 「民」の構成を考えながら、民主主義の理念への理解を深める。 政治制度としての「民主主義」よりも、自分たちが主人公という意識を育てる。
模擬ワークの計画(準備、当日の時間配分や進行など)	ワークの流れ 1. 民主主義の概略を学ぶ 2. 民主主義の重要点(民主主義とはなにか)を考える 3. 重要点を表す漢字を選ぶ 4. 選んだ漢字から「民主主義とはなにか」を説明するばらばらマンガをつくる ばらばらマンガ(視覚言語)を使う目的、効果 ● 資料(文章、映像など)で学び、頭の中で理念、概念として理解したことを視覚化することで理解を深める。 ● 「なにをどのように表現すれば伝わるか」を考え表現することは、「理解したこと」を分析し、必要なことを表現し直すこととなる。 ● 理解したことこの定着となる。まる

荒井:

アニメーションを作るのはあくまでもツールであり、テーマが重要。

下調べをしたり意見を出し合ったり。

KA:

考えていることは2つ。

テーマ1. 偏(へん)を意識して漢字を覚える。

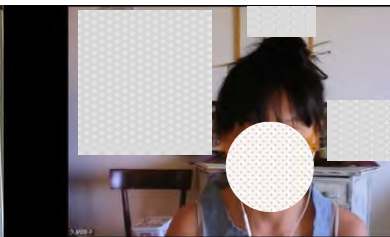
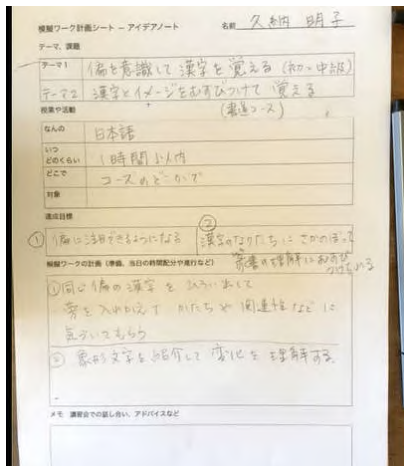
テーマ2. 漢字とイメージを結び付けて覚える。書道コース。

達成目標:

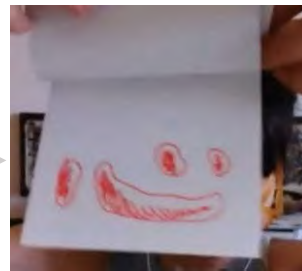
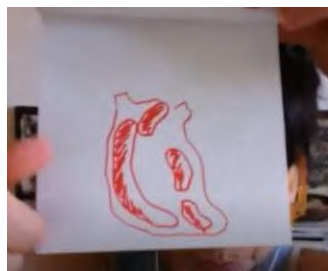
1. 偏(へん)に注目できるようになる。
2. 成り立ちを意識して、篆書の形も理解する。

ワークの計画:

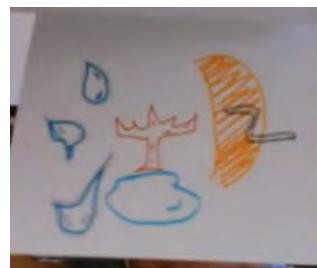
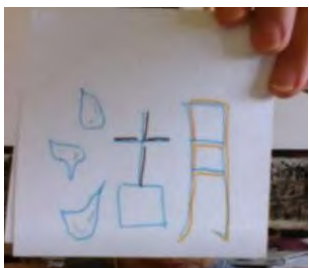
1. 偏(へん)を固定して、旁(つくり)を学生が自由に入れ替える。2枚のぱらぱらマンガはハードルが低くて良い。
2. そのものの形、象形文字、現在の漢字、の3段階で理解するようなワークをしたい。



形から理解する場合



偏(へん)と旁(つくり)を意識する(偏を固定する)



「くさかんむり」や「ごんべん」も面白い。

荒井:

素晴らしい。文字のルーツも感じられ、ビジュアルも想像できる。

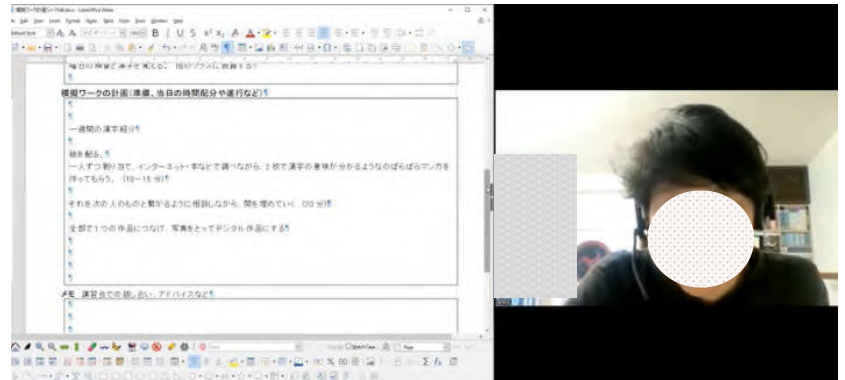
BN:

初級のクラスを想定。

1 週間の漢字の順番を覚えてもらう。

クラスで1つの作品を作る。

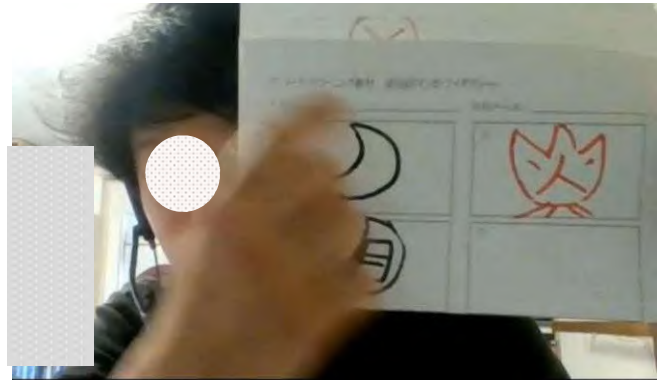
一人ずつ漢字を割り当てて一人 2 枚で成り立ちがわかるようなパラパラを作ってもらおう。それを順番につなげて作品にして、他のクラスに見せてフィードバックをもらう。



BN:

順番がわかるようなつながりを皆で考えて1つのものにしたら面白いと思う。

荒井: 文字単体でなく、順番を意識できるところが良い。



LY:

漢字の曜日の「曜」を小学校2年生で習う。

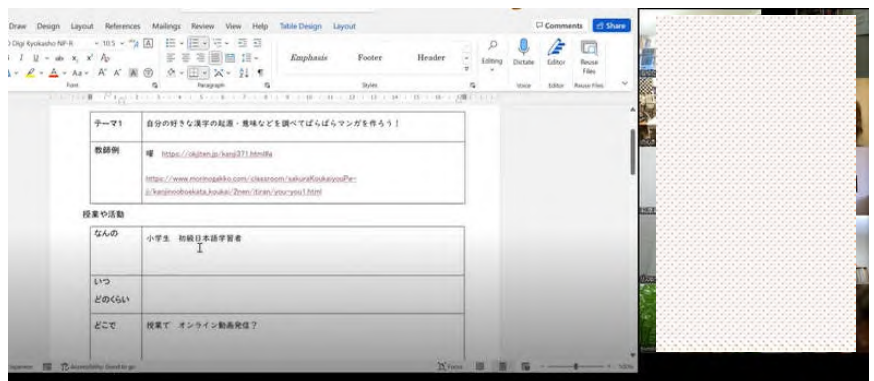
これをマスターしたら色々な漢字に使えるとずっと思っていた。

自分の好きな漢字を調べよう、というもの。

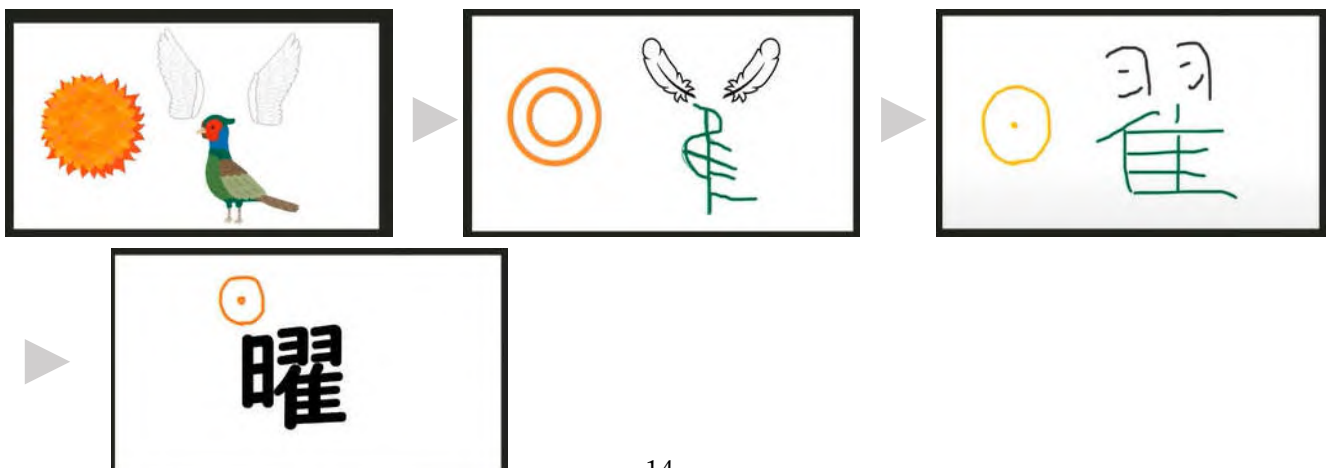
対象は小学生。初級学習者。

できたものを発信する。

意味や由来を考え、調べる。



PowerPoint で Gif を作った。イラストや手書きを用いた。



のんき:

パワポを駆使して素晴らしい。

それぞれの好きな文字を一つ選んでそれを深めていくのが学びにつながって良い。

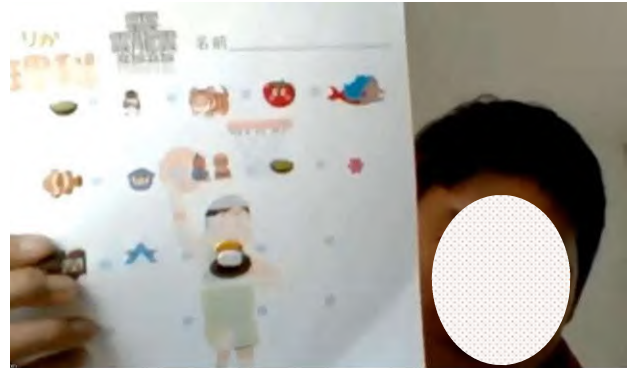
作ったらその人は忘れない。クラスで共有した人も、ただ文字を見るだけではないので印象ですりこまれる。

LY:

普段、継承語のお子さん用にステッカーカードを作っている。

好きなものや好きな漢字がそれぞれある。

好きな漢字でアニメーションを作ると大作ができるかも。



FY:

アイデアをお話する。

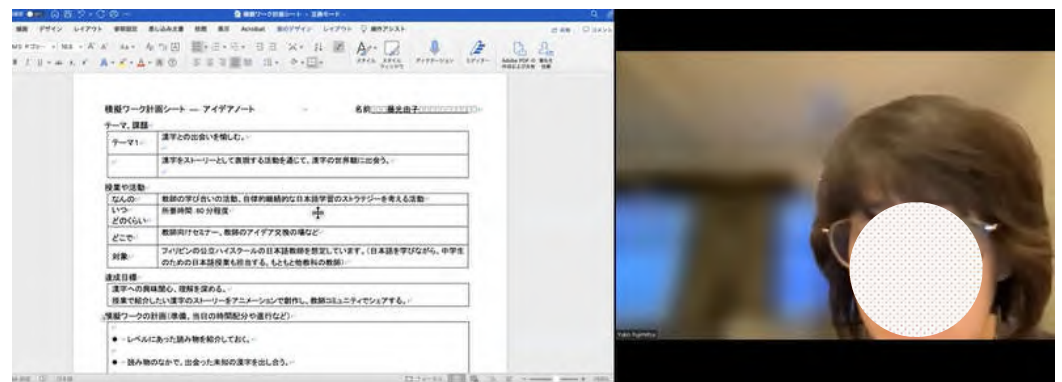
教師の学び合いの活動。

赴任しているフィリピンで、

日本語をこれから教えよう

という先生のサポートをし

ている。



そういう先生方を想定して教師向けのアイデア交換やセミナーの文脈で考えてみた。

目的は漢字への興味関心、理解を深める。漢字の世界観に出会ってそれを楽しんでいただく。好奇心を持ってもらう。

そのためにアニメテッドラーニングの活動を通じて作品をつくってコミュニティでシェアするところまで行けたら良い。

一つのアイデアとして、レベルにあった読み物を用意する。

オンラインで多読用のライブラリーがあるのでそれを紹介しておいて読み物の中で出会った未知の漢字を出し合う。

ストーリーの文脈からその漢字の意味を想像する。

その後、グループで気になった漢字、未知の漢字の情報をリサーチしてもらう。

未知の漢字に出会ったときにどのようにアプローチするか、リサーチ方法についても考えてシェアしてもらう。

それをもとに自分の授業で紹介したい漢字のストーリーを考え、それをアニメ作品としてグループで作成してもらう。

時間があればナレーションの SCRIPT も作成してもらう。

それを教師コミュニティが使っているパドレットで共有する。

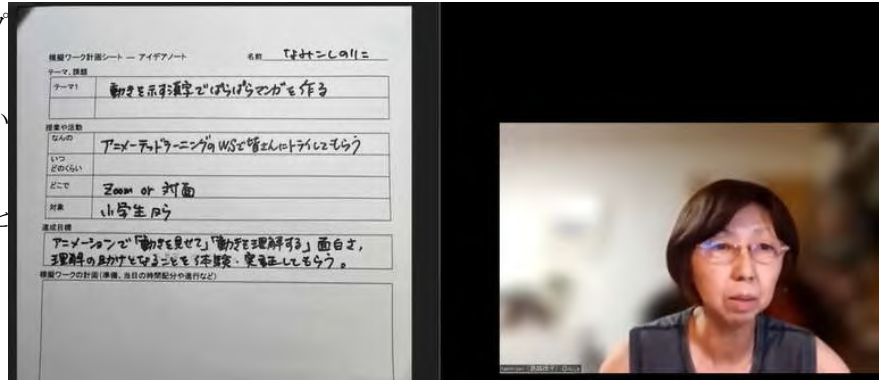
荒井: 出来上がった作品を共有できる場所を活用するのが大事。

浪越:

アニメーター研修のワークショップで皆さんにトライしてもらう。

対象は小学生から、ものが動くのが面白いということにまず触れてもらいたい。

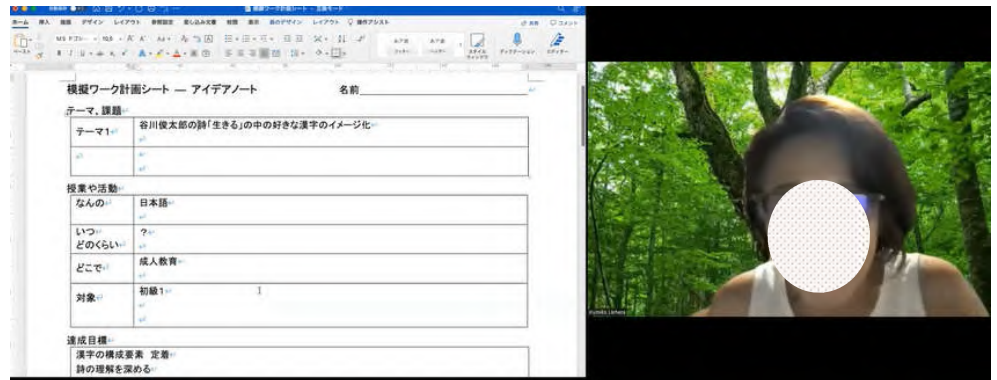
動くものを作ることが理解の助けになることを体験・実証してもらう。



荒井: 笑う前のビフォアがあるのが、変化がわかりやすくなって良い。

UK:

谷川俊太郎の「生きる」の詩。
詩を読み込んだ後に、中に出てくる好きな漢字をアニメを使ってイメージ化し、朗読している間に後ろに映してはどうかというアイデア。



漢字の構成要素、偏(へん)や旁(つくり)の形を入れて、意味をドイツ語で入れる。読みは後。

例えば「人」と「木」を組み合わせると、木のそばで人が休んでいる。

イメージ化させた方が定着するので、アニメはとても良い手段。

それを更に詩というコンテキストの中でやると面白い。

例えば、「生きる」という字や、「美しい」ものに出会う、泣ける、笑える、など。

鳥が羽ばたく、海が轟く、なども。初級1から2くらいの漢字、好きな漢字を選んでもらう。

同じ漢字を好きな人2、3人でグループを組むなど。

例えば、「美」という漢字は上が羊。下が大きい。大きい羊は美しいというイメージ。

そういうイメージになるようなアニメを考えてもらって詩の朗読の背景として映すと面白いと思った。

サンプルを一つ教師が選ぶと良い。

皆さんのアイデアにとっても刺激を受けた。偏(へん)を固定するというアイデアも面白いし、BNさんの漢字をつなげるのも面白い。是非やってみよう。

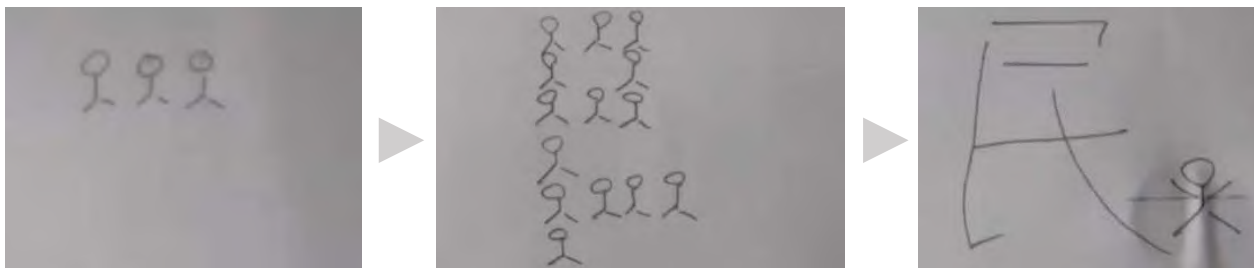
荒井:

作品を作った後、詩の朗読の背景にするのがとても良い。

長さはいくらでも調整できるしメタモルフォーゼでつなげるアイデアも。

詩とアニメーションは親和性がある。

伊藤:先ほど見せられなかった「民」のアニメを見せる。最初より簡略化したもの。人が主役の「民」。



荒井:

すっきりした。人が集まって「民」という形を作り上げるところがまさにそのものの意味。

しいて言えばもう少し枚数、ステップがあと1-2枚あっても良い。

(19:40 中締め)

6. ふりかえり

<ご案内>

伊藤:

- ・アンケートにご協力を。データは共有フォルダにアップしてください。
- ・「10分エクササイズー視覚言語感覚を身につける」はオンラインガイドランスに載せている。活用してください。
- ・新しいアイデアがあれば是非教えてください。
- ・「指導者向けアドバンス講習会」を8/30(火)に開催します。

『ひるさんのこれがわかると、アニメができる！Vol.1』

シリーズの第1回。テーマは「動き」。是非ご参加ください。

詳しくはこちら>> <http://alljp.org/cshirusanv1>

指導者向けアドバンス講習会

ALL.JP

ひるさんのこれがわかると、アニメができる！Vol.1

開催日：2022年8月30日(火) 日本時間17時開始

講師：屋間行雄（ひるさん）

テーマ：動き
仮現運動で動いて見えるだけで、実は止まっている。
2つの絵の差異のコントロールがアニメートすること。

<意見交換>

HK:

楽しく取り組んだ。

色々なことができると思う。一人の作業でも、グループ活動でも。

普通アニメーションは一人ではつくりないのでグループ活動も良い。

伊藤:

BNさんはつなげていくアイデアを出していた。チームワークで作っていくのも良い。1つのシーンを複数の人が協力し合って作るなど。

ぱらぱらマンガを初級者だけでなく、上級者にはどうだろう？

MA:

上級者用としては難しいかも。

地域の国際交流ラウンジは「ひらがな」から始める学習者がいるので、そういう機会に是非試してみたい。

「猫」は象形文字でなく形成文字だが、動いても良いのではないかと。

漢字はもともと絵から生まれており、面白さを感じてもらうのが先ずは一番大事だと思った。

MA:

のんきさんへの質問。

10コマのアニメを作る際、最初と最後はイメージできるが、間をつなぐのが難しい。

2枚ならまだわかるが、真ん中の作り方が難しい。

荒井:

間が1枚だと飛躍するので、4コマ漫画のイメージで、間2つを考えるようなイメージなら、つなぎやすくなるかも。

字によっても違うが。

4コマ漫画の気持ちで書いてさらに分解、も手か。

あとは部首別に切り紙で形を作ってしまうてから展開するとか。

KA:

考えている書道コースは初めての取り組みで、学生が登録してくれるかどうかともわからない。

日本語を勉強していない人も来る可能性が高く、アートのレベル。芸術作品として見てもらうことになる。

しかし書道は絵とは違うので、線のアートになる。

意味あるものとしてその線を描かないと意味がないので、意味を理解してもらうことと、形を理解してもらうことを結びつけるのに象形文字にさかのぼるのが大切なと思っている。

そこをぜひ最初から入れたい、と思っている。

子どもではないので習字ではなく、「書道」。

きれいな字を書いてもらうつもりはなく、書道をやってもらいたい。

篆書体も上級では書いてもらいたい、実は一番最初にそれをやってもらうほうが書道に入り込みやすく、楽しいのではないかと考えている。

書道の用紙でぱらぱらマンガをやったら良いのではないかと。

金文(青銅器の表面に鋳込まれた、あるいは刻まれた文字)と現代の漢字を重ねてみてはどうか、と、今日のワークで思った。

視覚の変化を書道に取り入れたら楽しいな、と、話しながら思いついた。

伊藤:

漢字の変遷はネットにたくさんあるが、自分が書いたものをぱらぱらしてみると、なるほど、とを感じるものがあるかも知れない。

書道の授業が成立したら試してみたい、学生さんの意見なども聴きたい。

KA:

来年度やりたいと思っている。最後にはミニ展覧会も。

テーマと漢字は学生で選び、どうして選んだか、何を表現したかったのかをプレゼンしてもらおうと思っている。

パラパラも二枚重ねて。書道紙は透けて見えるので元の象形文字や金文がうっすら透けて見えるのが良い。

行書と楷書でも良いし、楷書と草書でも良い。どう変化したかがわかるのが面白いと思った。

ぱらぱらではないが、透けさせて重ね合わせる作品も面白いと思う。

伊藤:色々な発表の形としても展開できる。

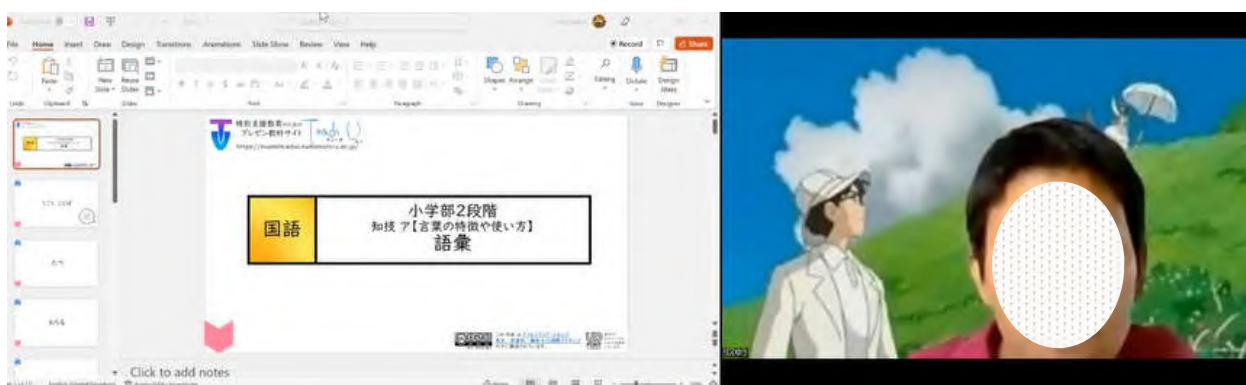
LY:

自分でやってみたいと思っていたことでも実際にはできなかった、できなかった今日はとても楽しくできた。

今日は漢字がテーマだったが、特別教育支援の人たちのための PowerPoint で作られた教材 (Teach U の輪) がネットに沢山アップされている。

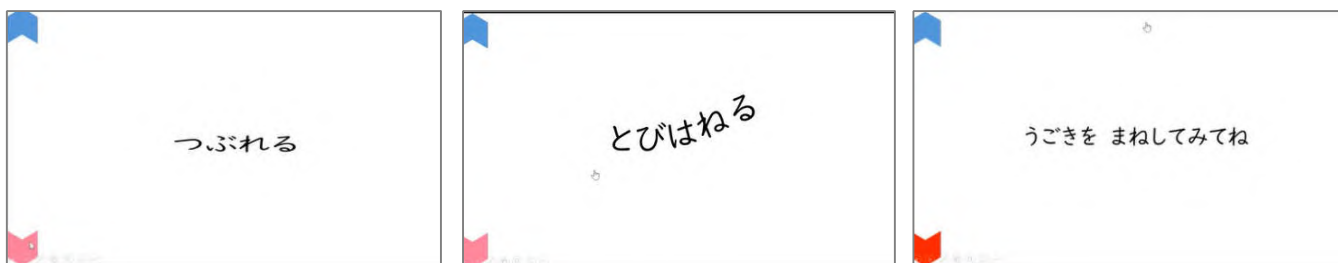
「うごくことば」という PowerPoint がアップされているのでシェアする。

<https://musashi.educ.kumamoto-u.ac.jp/jlt/>



クリックすると、書いてある言葉の通りになる。「たつ」「おちる」「とぶ」「ちかづく」「とおのく」「つぶれる」「とびはねる」「まわる」「すすむ」「とまる」など。

これがパワーポイントで出来るのがすごい。



これはひらがなで、特別教育支援の人たち向けだが、日本語教育にも力を入れている。

科研費で作られていて、授業でどんどん使ってください、と。自分たちで作れる参考サイトもある。

興味がわいた言葉があったら、それを使って自分たちでぱらぱらマンガをつくってもらうのも楽しそうだと思う。

伊藤:

ネットで共有できる時代なので教材も増えている。
のんきさんが紹介した「BANANA」と同じような発想。

BN:

皆さんの作品を見ていて様々な切り口があり楽しいと思った。

上級クラスなら「BANANA」みたいなものを作ったり、文学作品を「BANANA」のようにしたり、漢字だけでなく、大きく広げてその中に漢字が入っているというようにしたり。

また、上級クラスで「初級クラスに見せるための教材」を作るのを行う、というのもあると思う。

自分が通ってきた道なので、何が難しかったかを考えてわかりやすく伝えることもできるのかな、と思った。

伊藤: 自分が理解していることを誰かに教えるために使うというのも学習のひとつの手段としてあると思う。

FY:

KAさんが漢字への深い興味に基づいて書道の授業を考えているというのを聴きながら、それは私も関心高いところ。
白川文字学、漢字と対話する＝人間の歴史と対話する。

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/syoubun/shirakawa/taitoru.html>

フィリピンで活動している。教育省の研修に出ると、最初は「祈り」から始まる。

この研修が、学びがうまくいくように、と祈る。神との対話、祈りが教師の日々の生活にある。

アーティスティックな表現をすることも日常。教育大臣の会はいつもダンスと歌から始まる。

フィリピンはそういう国。クリエイティビティを発揮しあうのを大切にしている国。

この国の方々のために提供されてきた日本語教育の中に、こちらの人が持っているクリエイティビティが本当に活かされているのだろうかという思いが湧いてきた。

日本語教育のありかたも変わっていったほしいな、と思っていたところに今日のワークを体験できて良かった。

フィリピンの教育の文脈に合っていると思った。

UK:

最初は純粋に形態素と形態素をむすびつけて、と考えていうレベルで考えていたが、今日ここで皆さんとの話し合いに参加して、美的な表現や共同での学びとか、学びの体験をほかのひとに伝えるとか、また、LYさんが紹介してくれたPowerPointもすごく面白い。はまりそう。

HKさんの「走る」も面白く、身体の動きとアニメを結び付けて何かまた出来るかも知れないというヒントをもらった。

皆さんで会って話すことによるエネルギーの素晴らしさをあらためて感じた。

自分ひとりで考えているだけではだめだな、と。

これをまた続けていきたい。

伊藤: 10人いれば10人それぞれのアイデアがあり、面白い。

浪越:

皆さんが考えていることを聴くのがこんなに自分の中に新鮮なものを生むのかと思い、今日も感動した。

KAさんに是非授業の体験レポートをあやぼんさんのようにやってもらって是非聴きたいと思った。

イギリス継承語教育アニメテッドラーニング実践報告 > > <http://alljp.org/report-ayapon220524>

荒井:

皆さんのお話を聴いて、字を書いて動かすことにこだわらなくても動きが作れることがわかって目からうろこだった。

感情に複雑にかかわるものとか動きが複合するものは作りにくいかも知れないが、もしかしたらそういうのも関係なく広げられる可能性もあるかも知れないと思った。

結局こちらが勉強になった。

MA:

『birth つむぐいのち』、若見ありさんがプロデュースした短編をずっと見てきた。

地元の小さなホールで若見さん呼んで映画界を開いたり。

今日は荒井さんが講師なので作品をイメージしてとても楽しかった。

『birth つむぐいのち』>> <http://birth-tumugu.net/>

「第1夜 はじめまして」を荒井知恵さんが制作しました。

伊藤:本日はありがとうございました！

以上